

# 2024 年 9 月 3 日（火） 自生ミシマサイコ探索紀行

## mission 「伊豆半島に自生する天然ミシマサイコを探せ！」

かつては伊豆特産品だったという「ミシマサイコ」は、今、絶滅危惧種に指定されている希少な植物です。そのミシマサイコが自生するエリアのサーチ企画が執り行われました。

9 月は花満開の時期でもあり、セリ科の特徴を持つミシマサイコの黄色い可憐な花が、探索時のポイントとなります。見つかるといいなあ～！

9 月 3 日（火） 8 時 20 分に三島の錦田公民館に集合

大型台風 10 号による荒天が心配されましたが、ミシマサイコ保護活動に尽力する会員の日頃の行いが良いのでしょうか！

多湿で暑さもまだ残ってましたが、晴天を予感させる空模様です。

10:30 台風の尻尾が降らす一時的な雨に打たれながら、修善寺にて水口さんと合流し、サイコ保護地である「大室山ロープウェイ乗り場」へ到着。管理事務局の青木さんのお話ではプランター栽培で順調に育っているということで、リフト乗り場にある鑑賞用のミシマサイコを確認しました。

発芽率の低さ、初期育成が不安定なミシマサイコですが、さっそくその存在を確認できて、みんなで胸を撫で下ろしました(´▽`)



### 【大室山】

大室山ロープウェイ乗り場に置かれているプランターで栽培中のミシマサイコ



11:30 売店の茶菓子をいただきながら、次なる目的の保護地は「稲取細野高原」へ移動です。



#### 【稲取細野高原】

静岡県賀茂郡東伊豆町の山間部に広がる高原で、ユネスコ世界ジオパーク東伊豆エリアのジオサイトとして認定されています。125ヘクタールに広がる草原に1日かかりで防火帯を作り、山焼きで守ってきた稲取細野高原は、春はワラビなどが芽吹き、秋には一面ススキの原へと姿を変えて四季を楽しめます。



#### 【細野高原ネイチャーガイド】

細野高原ネイチャーガイドクラブに所属されている富永眞弘さん。高原のミシマサイコは鹿が食べてしまうので、自生ミシマサイコは自生植物園近辺で管理されています。最近では鹿が減ったので、またミシマサイコを播種しようかと話されていました。



#### 【自生植物園】

管理している植物園付近に支柱で支えられている、自生ミシマサイコがありました！葉は小さく、小ぶりの姿のミシマサイコ。生える場所によって、育ち方や形状の違いを感じました。



他にもススキに寄生する一年草のナンバンギセル、高原でしか見られないマツムシソウなども確認ができ、野草博士による説明がより楽しめる旅となっています！

12：20 最終の目的地へ向けて出発です。乱獲からミシマサイコを守るために、その場所の公開はできませんが、この時期は一面に緑が広がる草原の丘になります。その中にミシマサイコを見つけることができるか？



【某所にて】

全員で慎重に注意深く移動を開始して、わずか5分！

自生ミシマサイコが、たくさんの黄色い花を咲かせています。

写真提供：水口さん

近場の駐車場に車を停めて、二手に別れるかどうかなど議論をしましたが、全員で移動することになり、注意深く辺りを見渡しながらかき出すことわずか5分！自生したミシマサイコの群生を発見しました。

「ここにあるよ、ミシマサイコ！」「ここにもあるよ！」「お～！！けっこう立派に咲いてる！」など、早々に発見できたミシマサイコ。この伊豆半島の地で力強く生き抜いた姿に、詠嘆の声が止まりません。



【某所にて】

太陽と真っ青な空が、会の活動を導き、見守ってくれるようでした。

まとめ

今回の自生ミシマサイコ探索の旅は天候に恵まれ、伊豆半島でのミシマサイコの現状が確認できました。大室山ロープウェイ乗り場に管理されているプランター栽培のミシマサイコ、稲取細野高原では細々としながらも3～4箇所で自生したミシマサイコ、某所の丘では存在感あるミシマサイコの群生を見つけることができました。

手記：ミシマサイコの会 会員 門倉京子